事務事業調書	No	409	課 名	商工課	起 案 者	近藤司
平成23年度			係 名	労政係	決 裁 者	山中詔雄
事 業 種 別	市民サービス		区 分	継続	業務一覧No	3,7
事務事業名	雇用対策定着事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	5 活力にみちた環境づくり 5 消費生活・勤労者 2 勤労者 1 就業支援 1 就業支援	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	25-5-5
		総合計画以外の計画	
		関連する総合計画の施策	
性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの（選択的事業）	法定受託事務	無
根拠法令	無		
実施方法	直営	委託先	
実施期間	開 始 平成元年度	経 過 22年目	終 了 期 間
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	就職希望者及び無業者が	～になる	就職できるようにする

事務事業の内容

労働力の確保、雇用・就労の促進・定着支援を図るため、各種事業を行ないます。
・愛知建連技能専門校（技能者養成）への支援（補助金の交付）
・安城市地域職業相談室への支援（臨時職員の配置）
・若年者就業支援（研修会の開催）
・雇用対策（企業と教育機関との意見交換会の開催）

事務事業進捗状況

平成22年度実績
愛知建連技能専門校（技能者養成）への補助197,000円、地域職業相談室内の求人検索コーナーに臨時職員を配置9時～17時1名1,910,941円、安城市地域職業相談室（パート含）の就職率は32.0%、若年者就業支援事業（ﾔﾝｸﾞｼﾞｮﾌﾞｷｬﾘｱﾊﾞﾝ）・親と若者のﾜｰｸｼｮｯﾌﾟを開催79人参加事業費83,322円、安城若者サポートステーション事業新規登録者数233人3,999,600円、雇用対策事業補助金（従業員表彰、大学・高校との意見交換）1,500,00円、中小企業緊急雇用安定補助金73件13,535,488円

改善・対策の履歴

平成19年度ﾆｰﾄ･ﾌﾘｰﾀｰ相談、支援事業を実施。平成20年5月あんサポを設置、ＮＰＯ虹の会に事業を委託。
平成19年度パートバンク廃止。西会館内の高年齢者職業相談室にて業務継続。求人検索機2台設置。平成20年7月地域職業相談室となる。就職相談業務を相談員2人で年齢に関係なく利用可能になった。同時に求人検索機5台に増設。平成21年8月利用者の増大により相談員を3人に。平成23年1月新規求職申請登録、全国の求職情報の閲覧可能。
　あんサポの機関紙を市内関係施設、中学、高校に配布。年2回ネットワーク会議を開催。

環境配慮の視点

環境目標○－基本的施策○－具体的施策○

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		11,348	11,197	12,308	91,304	72,601	91,923	45,513
	財 源 計 a		7,357	7,206	8,317	87,313	68,610	68,610	45,513
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	0	0	0	0	0	0	0
		一 般 財 源	7,357	7,206	8,317	87,313	68,610	68,610	45,513
	受 益 者 負 担 金		0	0	0	0	0	0	0
	職 員 人 件 費 d		3,991	3,991	3,991	3,991	3,991	3,991	0
	内 訳	従 事 職 員 数	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53	0.00
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	19,322	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	求人検索・パートコーナー臨時職員配置	見込(単位)	2,100.00	2,026.00	2,034.00	2,050.00
				実績b(単位)	2,049.00	2,059.00	2,070.00	
		指標名(単位)	勤務時間(時間)	活動の総事業費f 実績	2,147	2,194	2,212	
				単位コストg=f÷b 実績	1.05	1.07	1.07	
	活動②	活動名（活動内容）	中小企業緊急雇用安定補助金	見込(単位)	0.00	0.00	150.00	0.00
				実績b(単位)	0.00	181.00	73.00	
		指標名(単位)	補助件数(件)	活動の総事業費f 実績	0	79,910	13,750	
				単位コストg=f÷b 実績	0.00	441.49	188.35	
	活動③	活動名（活動内容）	地域若者サポートステーション事業	見込(単位)	0.00	0.00	12.00	12.00
				実績b(単位)	0.00	12.00	12.00	
		指標名(単位)	機関紙発送回数(回)	活動の総事業費f 実績	0	4,063	3,999	
				単位コストg=f÷b 実績	0.00	338.61	333.25	

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	若年者就業支援事業参加者数（人）地域若者ｻﾎﾟｰﾄｽﾃｰｼｮﾝ事業新規登録者数（人）（人）	見込(単位)	230.00	250.00	250.00	0.00
			実績(単位)	299.00	262.00	233.00	
			達成状況	達成	達成	未達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
			見込(単位)				
			実績(単位)				
			達成状況				
		目標成果指標値		目標達成年度			

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	地域職業相談室の相談員は3人に、新規求職申請登録、また求人検索機（パソコン5台）で全国情報の閲覧可能 ニート・フリーターやそのご家族に相談及び支援する機会を提供できた。 地域若者ステーション登録者の進路決定率は42.4%であった。 中小企業緊急雇用安定補助金73件、13,535,488円であった。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位ｺｽﾄ	職業訓練校補助金については、平成19年度より、職業訓練校が碧南市のものづくりセンター内に統合され、補助金額が見直され削減されたので単位コストは減額となった。 求人検索の臨時職員は、最低人数（1名）で対応している。
	成果1，2	安城市地域職業相談室における就職率は32.0%であった。若年者就労支援事業は、平成22年度では、ヤングジョブキャラバンの他、親と若者のセミナーを開催した。平成20年度より厚生労働省の委託事業「地域若者サポートステーション事業」を開始し、月～金に相談を実施した。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	若年者支援の「地域若者サポートステーション事業」の活用のために広報やチラシ等でＰＲ及び他団体との連携を図ります。 商工会議所と連携して高校・大学の先生と企業とのマッチングを積極的に進めます。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	就業支援は、今後より必要とされる事業です。対象者も拡充しなければならないと考えています。 対象者は「ニート」「引きこもり」「フリーター」などの若年者、女性の再就職、高年齢者、障害者です。 厚生労働省の委託事業で、若者就労支援事業「地域若者サポートステーション事業」を実施します。 職業相談室は求人検索機（パソコン）の検索範囲が愛知県内から全国に拡大。